

社

会

高3生

日本史【1440分】

高橋 芳武 先生

【こんな人のための講座】

- 1学期に受講していた人(江戸時代～明治時代初期を扱います)
- 江戸時代の学習がまだ終わっていない人、もしくは習ったけれど何を覚えてよいか分からない人
- 単語は覚えたが入試の出方が分からない人、もしくは模試などで点数がとれない人

【講座のポイント】

- ① 夏期講習で江戸時代の範囲の学習を終わらせられる
- ② 江戸時代の文化史も一から覚えるべきポイントがマスターできる
- ③ 授業内で演習を実施するため、問題が解ける感覚がつかめる

【講座内容】(180分×全8回)

○ 江戸時代について

江戸時代は入試頻出分野の一つです。大問が4つある大学などでは、1つの大問で江戸時代が出題されることが多いため、およそ20～30点分の配点となる可能性が高いといえるでしょう。ただし、古代・中世史と比べて戦乱などは少なく、政治史や社会経済史が中心となるため、苦手な受験生は多いようです。苦手な分野こそ、入試の出題のされ方をしっかり意識して、より効率的に学習を進めて行く必要があります。

○ 江戸時代の文化史について

江戸時代はおよそ260年も続いた長い時代です。文化史だけを見ても、寛永期の文化→元禄文化→宝暦・天明期の文化→化政文化と、4つの文化が芽生えました。それぞれの文化の特徴の違いは説明できますか？江戸時代の文化は大問でも出題されやすい分野です。この夏の学習で、得意分野に変えていきましょう。

○ 明治時代について

この夏期講習の後半からいよいよ近代史に突入していきます。古代・中世史はざっくりと歴史の流れをつかんできましたが、近代からは1年刻みで重要語句が登場してきます。また、明治時代初期は政治・外交・経済と様々な分野のできごとが同じ年に重なり、受験生が最も時代を整理するのに苦戦するようです。夏期講習で明治初期の流れをマスターし、二学期の学習につなげていきましょう。

【小テストについて】

内容: 前回講義で学んだこと

時間: 10分 | 目標: 80% | 追試の有無: 無 | 実施のタイミング: 授業内

【担当講師からメッセージ】

ワークショップの授業は、生徒の皆さんと一緒に作りあげていきたいと考えています。要するに、生徒参加型の授業にしたい、と。最初、日本史の知識がないうちは、発言するには勇気がいると思いますが、そこで一歩踏み出すことが大切です。授業中に理解して、効率よく覚えるためには、授業中も考えないとダメです。間違えても良いんです。その間違いが逆に理解を深めるチャンスです。ぜひ一緒に授業を作り上げ、志望校合格を勝ち取りましょう！

社

会

高3生

世界史【1440分】

村山 秀太郎 先生

【こんな人のための講座】

- 中世から前近代にかけてのヨーロッパ史を詳細に覚えたい人
- 小テストを有効活用して各時代の出来事をしっかりと定着させたい人
- 実際に世界中を飛び回ってきた先生の体験談を聞いてみたい人

【講座のポイント】

- ① 前近代ヨーロッパ史の基礎をマスターしていきます
- ② 宗教改革と宗教戦争を分かりやすく説明します
- ③ 絶対王政や革命による制度の仕組みの変化を詳しく解説します

【講座内容】(180分×全8回)

夏期講習では主にヨーロッパの歴史を取り扱っていきます。

- ゲルマン人の移動から始まる中世ヨーロッパ諸地域史
- 宗教改革の根本から宗教戦争
- 絶対王政と革命、ナポレオンとナショナリズム

以上の3つの視点を軸に授業を進めていきます。ヨーロッパ史は、ややこしい分野だと思われがちですが、歴史上の人物の特徴などを捉えながら、分かりやすく解説していきます。また、複雑に進められた宗教改革に関しても、丁寧に説明します。私の授業は、昔起きた出来事をただ話すだけの授業ではなく、私自身が現地へ行った際に、遺跡や史跡などを見て感じたことや、自身の経験に関しても喋るので、皆さんを退屈させることはありません。また、苦手な方が多い入試頻出の年号や地図にも強くなっていただくために、生徒の皆さんに質問を投げかけながら授業をしていきます。

【小テストについて】

内容: 前回学習した所の復習

時間: 問題数による

目標: ランキング上位

追試の有無: 無

実施のタイミング: 毎回(筆記ではなく口頭で実施することもあります)

【担当講師からメッセージ】

私は16歳の頃から世界各地を飛び回ってきました。ベルリンの壁崩壊やソ連崩壊時のモスクワクーデターなど、教科書に載っている、あらゆる出来事も実際に現地で体験してきました。私の授業は、自分の経験に即した内容であるからこそ、どの世界史講師にも負けない面白さがあります。世界史が苦手な方にも分かりやすいよう、分かりづらい制度や出来事は分かりやすい例に置き換えて説明します。授業中、授業前後の質問も随時受け付けますので、安心して受講していただきたいです。一緒に世界史の勉強をできることを楽しみにしています！